

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】令和2年11月19日(2020.11.19)

【公表番号】特表2019-534217(P2019-534217A)

【公表日】令和1年11月28日(2019.11.28)

【年通号数】公開・登録公報2019-048

【出願番号】特願2019-544786(P2019-544786)

【国際特許分類】

B 6 5 D 85/00 (2006.01)

B 6 5 D 25/02 (2006.01)

B 6 5 D 25/34 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 85/00 3 2 1

B 6 5 D 25/02 Z

B 6 5 D 25/34 B

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月9日(2020.10.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内向き表面を備える外側パネルと、

前記外側パネルに対して平行に延在する補強パネルであって、前記外側パネルの前記内向き表面に対向する外向き表面を備える、補強パネルと、

前記外側パネルの前記内向き表面に対して結合された第1振動減衰基材と、

前記補強パネルの前記外向き表面に対して結合された第2振動減衰基材とを備える、格納容器のための蓋体アセンブリ。

【請求項2】

前記補強パネルは、前記補強パネルの平面から外れて延在し、且つ、前記外側パネルと前記補強パネルとの間に複数の外側寄りの空間のポケットを形成する一本以上の補強溝を備え、

前記第1振動減衰基材及び前記第2振動減衰基材は、前記外側寄りの空間のポケットの内の少なくとも一つのポケット内に位置される、請求項1に記載の蓋体アセンブリ。

【請求項3】

前記第1振動減衰基材及び前記第2振動減衰基材の少なくとも一方は、基部層と外側層とを備える多層構造を備える、請求項1又は2に記載の蓋体アセンブリ。

【請求項4】

前記外側層は、前記基部層よりも大きな剛性を備える、請求項3に記載の蓋体アセンブリ。

【請求項5】

前記第1振動減衰基材及び前記第2振動減衰基材は、少なくとも200までの温度に耐え得る非硬化性の耐熱性材料を備える、請求項1~4のいずれか一項に記載の蓋体アセンブリ。

【請求項6】

前記第1振動減衰基材及び前記第2振動減衰基材の少なくとも一方は、少なくとも2枚

の振動減衰基材を備える、請求項 1～5 のいずれか一項に記載の蓋体アセンブリ。

【請求項 7】

前記蓋体アセンブリは粉体塗装される、請求項 1～6 のいずれか一項に記載の蓋体アセンブリ。

【請求項 8】

内向き表面を備える外側パネルと、

前記外側パネルに対して平行に延在する補強パネルであって、

前記外側パネルの前記内向き表面に対向する外向き表面と、

前記補強パネルの平面から外れて延在し、且つ、前記外側パネルと前記補強パネルとの間に複数の外側寄りの空間のポケットを形成する一本以上の補強溝とを備える、補強パネルと、

前記外側寄りの空間のポケットの内の一つのポケット内で、前記外側パネルの前記内向き表面に対して結合された第 1 振動減衰基材と、

前記外側寄りの空間のポケットの内の一つのポケット内で、前記補強パネルの前記外向き表面に対して結合された第 2 振動減衰基材と、

前記補強パネルと前記外側パネルとの間において前記一本以上の補強溝の頂点に配置されたシーラント帶片とを備える、格納容器のための蓋体アセンブリ。

【請求項 9】

前記第 1 振動減衰基材及び前記第 2 振動減衰基材の少なくとも一方は、基部層と外側層とを備える多層構造を備える、請求項 8 に記載の蓋体アセンブリ。

【請求項 10】

前記外側層は、前記基部層よりも大きな剛性を備える、請求項 8 又は 9 のいずれか一項に記載の蓋体アセンブリ。

【請求項 11】

前記第 1 振動減衰基材及び前記第 2 振動減衰基材は、少なくとも 200 までの温度に耐え得る非硬化性の耐熱性材料を備える、請求項 8～10 のいずれか一項に記載の蓋体アセンブリ。

【請求項 12】

前記シーラント帶片は前記外側パネルに接触する、請求項 8～11 のいずれか一項に記載の蓋体アセンブリ。

【請求項 13】

前記第 1 振動減衰基材及び前記第 2 振動減衰基材の少なくとも一方は、少なくとも 2 枚の振動減衰基材を備える、請求項 8～12 のいずれか一項に記載の蓋体アセンブリ。

【請求項 14】

前記蓋体アセンブリは粉体塗装される、請求項 8～13 のいずれか一項に記載の蓋体アセンブリ。

【請求項 15】

前記第 1 振動減衰基材及び前記第 2 振動減衰基材は、夫々、前記外側パネル及び前記補強パネルに対して接着剤で結合される、請求項 8～14 のいずれか一項に記載の蓋体アセンブリ。

【請求項 16】

格納容器を作製する方法において、

前記方法は、

蓋体アセンブリを組立てる段階であって、

前記蓋体アセンブリの外側パネルの内向き表面に対して第 1 振動減衰基材を結合する段階と、

前記蓋体アセンブリの補強パネルの外向き表面に対して第 2 振動減衰基材を結合する段階と、

前記外側パネルの前記内向き表面が前記補強パネルの前記外向き表面に対向する様に、前記蓋体アセンブリの前記外側パネルを前記蓋体アセンブリの前記補強パネルに対して

結合する段階とを備える段階と、

前記蓋体アセンブリを、前記格納容器の内部を形成する基礎部分に対して結合する段階と、を備える、格納容器を作製する方法。

【請求項 17】

組立てられた蓋体アセンブリを粉体塗装する段階を更に備える、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 18】

前記補強パネルは、前記補強パネルの平面から外れて延在し、且つ、前記外側パネルと前記補強パネルとの間に複数の外側寄りの空間のポケットを形成する一本以上の補強溝を備える、請求項 16 又は 17 に記載の方法。

【請求項 19】

前記補強パネルと前記外側パネルとの間において前記一本以上の補強溝の頂点にシーラント帶片を装着する段階を更に備える、請求項 18 に記載の方法。

【請求項 20】

前記第 1 振動減衰基材及び前記第 2 振動減衰基材は、前記外側寄りの空間のポケット内の少なくとも一つのポケット内に位置される、請求項 18 又は 19 に記載の方法。